

日本学術会議 公開シンポジウム
「総合工学シンポジウム2016」

知の統合を如何に達成するか ― 総合工学の方向性を探る ―

<http://save.sys.t.u-tokyo.ac.jp/sogo2016-symp/>

の開催について

1. 主催：日本学術会議 総合工学委員会

2. 後援（交渉中）：エコデザイン学会連合、横幹連合、日本計算力学連合、応用物理学会、化学工学会、可視化情報学会、計測自動制御学会、サービス学会、資源・素材学会、情報処理学会、精密工学会、電子情報通信学会、土木学会、日本応用数学会、日本感性工学会、日本機械学会、日本計算工学会、日本原子力学会、日本航空宇宙学会、日本シミュレーション学会、日本地震工学会、日本生体医工学会、日本設計工学会、日本船舶海洋学会、日本知能情報ファジイ学会、日本ロボット学会、ライフサポート学会

3. 日時：2016年7月20日（水） 13:00～17:00

4. 場所：日本学術会議講堂

5. 開催趣旨：昨今、新しい知の創出に文理融合、複合領域融合の重要性が指摘されている。その困難さは単純ではないことが共通の認識であるが、既に部分的に達成されているケースもある。第I部の講演では、知の統合にいかなる意義があるのか、それらはいかにして達成されるのか、残された課題は何かを学び共通の認識とする。第II部では、これらの共通認識をもとに、総合工学の目指すべき方向について各パネリストが語り、討議を行う。

6. 次第：

司会 浅間 一（日本学術会議連携会員、東京大学大学院工学系研究科教授）

13:00-13:10 開会挨拶 花木 啓祐（日本学術会議副会長、東京大学大学院工学系研究科教授）

第I部

13:10-14:00 基調講演 構成科学としての工学（設計科学）

吉川 弘之（日本学術会議栄誉会員、JST特別顧問）

14:00-14:30 「知の統合」と「知の統合学」をめざして

舘 暲（東京大学名誉教授）

14:30-14:40 休憩

司会 為近 恵美（日本学術会議連携会員、横浜国立大学成長戦略研究センター教授）

14:40-15:10 情報学から見た工学分野の融合について

喜連川 優（日本学術会議第3部会員、国立情報学研究所所長）

15:10-15:40 東日本大震災後の被災地支援研究

似田貝 香門（東京大学名誉教授）

15:40-15:45 休憩

司会 所 千晴（日本学術会議連携会員、早稲田大学理工学術院教授）

第II部ーパネル討論 15:45-16:55

ファシリテータ：吉村 忍（日本学術会議連携会員、東京大学大学院工学系研究科副研究科長）

パネリスト：

奥村 次徳（日本学術会議連携会員、東京都立産業技術研究センター理事長）

リーディング大学院“オールラウンド型”の成功事例から

大倉 典子（日本学術会議連携会員、芝浦工業大学工学部教授）

かわいい人工物の系統的解析の視点から

狩野 光伸（日本学術会議特任連携会員、同若手アカデミー副代表、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科教授）

医工連携及び文理融合プロジェクトの経験をもとに

瀬山 倫子（日本学術会議連携会員、同若手アカデミー委員、NTT先端集積デバイス研究所主幹研究員）

ICT向けものづくり産業の視点から

16:55-17:00 閉会挨拶 渡辺美代子（日本学術会議第3部会員、科学技術振興機構副理事）